



2022年度 国連ユースボランティア 帰国報告会 **ONLINE**

UN Youth Volunteers Debriefing Symposium

日時：2023年3月25日(土) 13:30-16:00 (13:15開場)

形式：Zoom (Webinar)によるオンライン配信

定員：500名 (先着順)

※要事前申込 (定員になり次第申込を締め切ります。)

言語：日本語

申込方法：以下リンクからお申込み下さい。

※申込登録後、ご登録いただいたE-mail宛に参加用URLが送付されます。

申込期限：2023年3月23日 (木) 23:59

申込用URL： <https://onl.bz/tDrMA8r>

※ご登録いただいた内容は、本帰国報告会の実施にのみ使用し、そのほかの用途では使用しません。





帰国報告会概要

「国連ユースボランティア」として2022年9月から約5カ月間、アルバニア、スリランカ、東ティモール、ヨルダンなどの国連機関に派遣され、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて活動してきた学生たちが集い、現地での学びや経験を語り合う帰国報告会をオンラインで開催します。

国連の掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、国連ユースボランティアとして「何ができるか」を模索しながら活動に取り組みました。今回の帰国報告会では、それぞれが置かれた様々な状況下で経験したこと、学んだこと、得たことを共有し、コロナ禍で留学したり国際貢献活動に取り組んだりすることの意義、さらには国連ユースボランティアが一般的な留学プログラムとどう違うのかのについて考えます。



※国連ユースボランティア： 関西学院大学が国連ボランティア計画（UNV）との協定に基づいて実施しているプログラム。UNVのコーディネートにより、学生たちはアジア、アフリカ、オセアニアなどの主に開発途上国の国連機関に約5ヶ月間派遣され、現地で国連職員とともに広報やリサーチなどの活動に従事します。2004年に派遣を始めて以来、100名を超える学生が参加しています。2023年2月現在、実施基幹校である関西学院大学以外に、大阪大学、国際教養大学、筑波大学、東洋大学、明治大学、明治学院大学、立教大学が連携校として参加しています。

スケジュール

◆13:30-13:50

開会挨拶 「国連ユースボランティア」派遣日本訓練センター長 神余 隆博
ビデオレター 外務省地球規模課題総括課長 松本 好一郎
ビデオレター 国連ボランティア計画（UNV）事務局次長 横須賀 恭子
（司会進行：関西学院大学 国際連携機構事務部 奥田 祐美子）

◆13:50-14:50

第一部：パネルディスカッション

モデレーター： 明治大学 国際連携機構 特任講師 仲谷 ちはる
派遣生： 谷口陽咲（大阪大学）、鈴木希授（国際教養大学）堀之内葵乃（東洋大学）、
近藤愛（明治大学）、遠藤花南（明治学院大学）、千葉奏美（立教大学）、
湯田真樹子（関西学院大学）

◆休憩

◆15:00-15:55

第二部：Q&Aセッション

モデレーター： 関西学院大学 国際教育・協力センター教授 長 英一郎
派遣生： 谷口陽咲（大阪大学）、鈴木希授（国際教養大学）堀之内葵乃（東洋大学）、
近藤愛（明治大学）、遠藤花南（明治学院大学）、千葉奏美（立教大学）、
湯田真樹子（関西学院大学）

◆15:55-16:00

閉会挨拶 「国連ユースボランティア」派遣日本訓練センター 副長 關谷 武司